【教育理念】児童の笑顔、教師の笑顔、保護者の笑顔が　魅力ある学校を作る

㋕んどういっぱい　㋔キドキいっぱい　㋑クワクいっぱい　㋖ラキラ輝く　大野木場小学校便り　№５６
令和８年　６月１１日（木）
南島原市立大野木場小学校
校　長　　森田　純弘

かどわきっ子

プール清掃

先月３０日(土)は、ＰＴＡによるプール清掃が行われました。近年は、児童数の減少に伴い、清掃に多くの時間を要していました。今年度初めての活動でしたが、当日は、保護者１７名、児童１１名、教職員１２名に参加いただきました。お仕事や御家庭の都合をつけていただき、誠にありがとうございました。

プール清掃までに、体育主任の先生が十分に準備してくださり、前日に子どもたちが一生懸命に頑張ってくれたおかげで、予定よりも早く切り上げることができました。子どもたち、保護者の皆様、先生方のおかげで、例年よりもきれいなプールで水泳の授業を始めることができます。

２２日(月)から水泳指導(月)が始まります。水泳の学習は、想像以上に体力を使います。十分な睡眠と食事への御配慮をお願いします。

心を見つめる教育週間

６月２２日(月)～２８日(日)は、「かどわきっ子の心を見つめる教育週間」です。

授業参観・学級部会は２３日(火)に予定していますが、いつ来校されても構いません。普段はなかなか見ない教科の授業を参観されたり、保健集会を参観されたり、御自由にどうぞ。期間中の読み聞かせには、深江図書館の方もお越しくださいます。

２３日(火)は、学校保健委員会主催の子育て講演会を予定しています。貴重なお話が聞けますので、御近所の方もどうぞお誘いください。

◆　日時　　令和８年６月２３日(火)
　　１４:３０～１６:００
◆　講師　　浦川 末子　様
　　元長崎女子短期大学学長
◆　演題
　人生１００年を生きる子どもを育てる
　～待ったなし 今こそ親の出番・地域の出番～

※　JA 共済様から学童用の傘を１年生にいただきました。ありがとうございました。

宿泊体験学習

先週２日(火)～３日(水)は、５年生の宿泊体験学習が行われました。台風が接近していたため、当初予定していたプログラムは、一部変更となってしまいました。沢登りの体験はなかなかできないので残念でした。

千々石少年自然の家が３月末で廃止になったため、今年から諫早青少年自然の家へ場所を移しました。経費削減のため、行き帰りのバスを小林小学校と一緒にしました。初めてのことでしたので、子どもたち同士がうまくふれ合えるか心配していましたが、大人の取り越し苦労だったようです。子どもたちに尋ねると、「友達になった」という声がたくさん返ってきました。

次年度以降、小林小学校とどのような形で合同学習ができるのかについては、検討をしていきたいと思います。学級部会等でも話題にしていただき、ＰＴＡ評議員会の折にお知らせいただけたらと思います。

５年生は、深江漁協と合同で行うブループロジェクトでも、町内三つの小学校が一堂に会します。環境問題を解決するための活動を通して、さらに親睦を深められたらと思います。

被爆体験講話

昨日、４～６年生を対象として、被爆体験講話をしていただきました。

講師をしてくださったのは、長崎市在住の「八木道子」様です。八木様は、小学１年生で被爆されました。一瞬にして聞こえなくなった蝉の声や異様な空の色などは、今でも鮮明に覚えていらっしゃるそうです。

実際に原爆を体験された方のお話は、全ての児童の心に響くものがあったに違いありません。今なお続く戦争、このことも御家庭で話題にしていただくと、昨日の学びが更に深まるかと思います。

明日は、４年生が長崎に平和学習に出かけます。平和公園でのミニ集会、原爆資料館の見学、その一つ一つが昨日の学びと結びつき、より心に残るものだと期待しています。